

次期山形県産業振興ビジョンの策定について

1 次期ビジョンについて

(1) 策定方針

- 分かりやすく、伝わりやすいものとする。(現ビジョンの全 100 頁超の形式は廃止)
- 未来のあるべき姿から、逆算して対応を考えるバックキャストिंगを取り入れる。
 - ・目標とする「未来の姿」を描き、そこから「今何をすべきなのか」を考える思考法。現状にとらわれない発想が生まれやすくなるため、不確実性の高いテーマや明確な正解がない課題に対し、具体策を考えるのに有効な手法として注目されるバックキャストिंगを取り入れて検討していく。(次頁参照)

(2) 策定の進め方

- 本県産業の未来の姿（2035 年の未来像）を設定
 - ・「いつ」「どんな姿になっているのが理想か」未来の姿を設定
 - ※現状にとらわれず、中長期で理想とする未来像に向かうため、未来の姿を 2035 年に設定
- 次期ビジョンの計画期間における取組みの検討
 - ・2035 年の未来像の実現に向け、次期ビジョンの計画期間（5 年・2025～2029 年）における必要な取組みについて検討

審議会での意見を踏まえ、企業や支援機関等からヒアリングを行いながら、産業労働部内各課の担当者によるワーキンググループ等で検討を進めていく。
※意見集約や文章化の際は A I も活用

2 今後のスケジュール（予定）

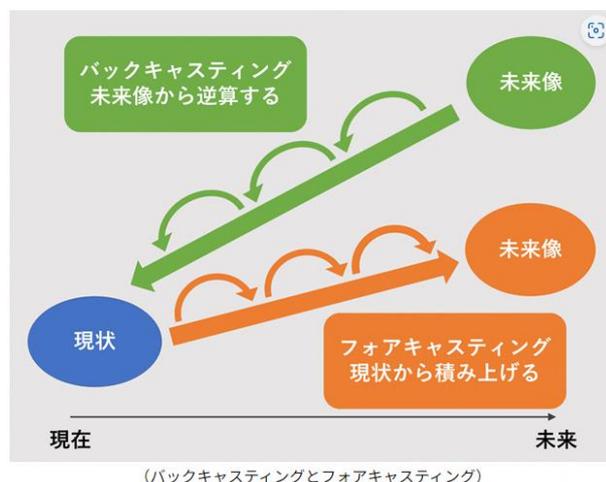
- | | | | |
|------|-----|------------------|-----------------------|
| R 6. | 3月 | 第2回審議会 | 本県産業の未来像とその実現に必要な取組み等 |
| | 7月 | 第1回審議会 | 骨子案の検討 |
| | 11月 | 第2回審議会 | 中間とりまとめ |
| R 7. | 2月 | 第3回審議会 | 最終案の合意形成 |
| | 3月 | パブリックコメント、ビジョン策定 | |

<バックキャストとは>

- ・目標とする「未来の姿」を描き、そこから「今何をすべきなのか」を考える思考法のこと。現状にとらわれない発想が生まれやすくなるため、不確実性の高いテーマ・課題に対し具体策を考えるのに有効な手法として注目される。
- ・「SDG s（持続可能な開発目標）」においても、2030年の目標を未来に定めて現在の行動を決めるバックキャストが採用されている。
- ・中長期的な成長を設計したり、革新的なアイデアを探したりする場合、バックキャストが適している（短期的な問題には不向き）。

<フォアキャストとは>

- ・過去の実績やデータに基づいて現実的に実現可能なものを積み上げ、未来の目標に近づける思考法のこと。
- ・過去や現在を分析して目標を立てるフォアキャストは、「周囲から理解を得やすい」「実現可能性が高い」などのメリットがある。
- ・その時点で分析できる範囲の改善しか行えないため、大きな目標設定には不向き。
- ・現状改善のアイデアを発案したいときや短期的な業務予測をしたいときは、フォアキャストが適している。



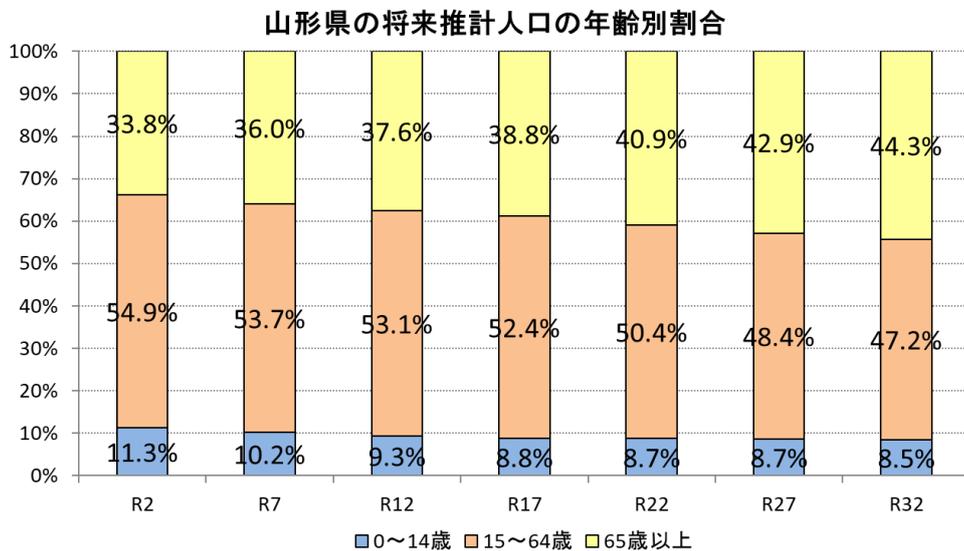
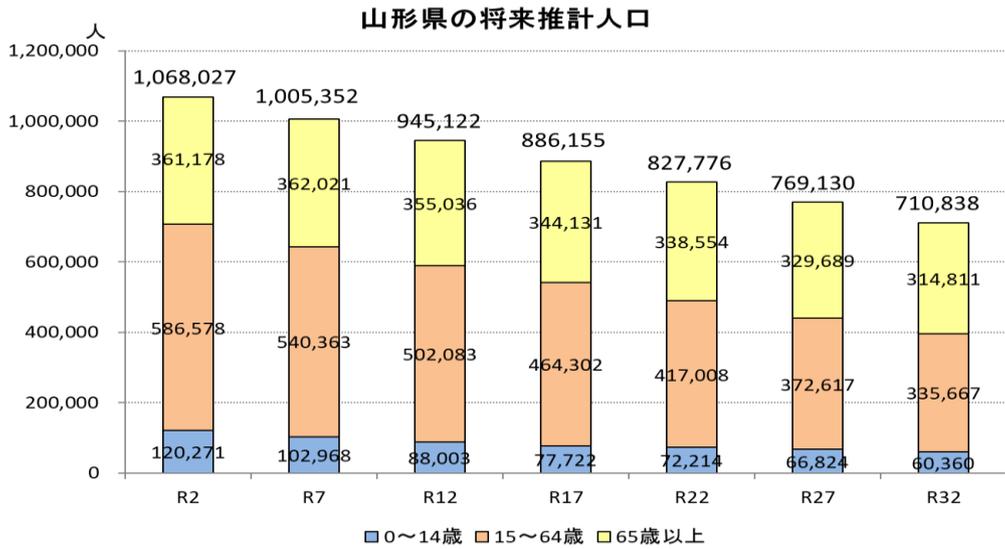
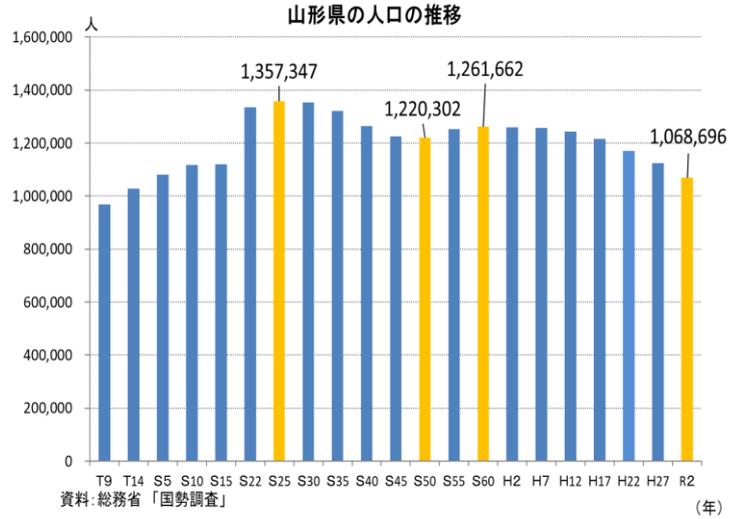
<バックキャストの方法>

- 1 未来のあるべき姿を設定
「いつ」「どのような姿になっているのが理想か」を設定
- 2 課題の洗い出し
未来の姿になるために何が足りないのか、何があれば未来の姿になれるのかを検討
- 3 アクション設定
未来の目標達成に向けた具体的なアクションをカテゴリ毎に分類
- 4 スケジューリングと実行
時間軸でアクション項目を配置

山形県の人口

●山形県の最重要課題の1つであり、本県産業の未来の姿を考えるうえで欠かすことのできない人口減少の状況。

- 本県人口のピークは、昭和25年の約135万人。
- その後、減少に転じたものの、再び増加し、昭和60年にピークとなる。
- 昭和60年以降は減少が続いており、令和2年の調査では110万人を切る人口となった。
- 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計では、令和2年から令和32年までの30年間で、約3割以上少ない、71万人まで減少すると予測。



次期産業振興ビジョン策定に係る意見について

次回の審議会におきまして、第1回審議会を踏まえ、資料7に記載の策定方針により、検討を進めてまいりたいと存じます。

つきましては、下記の事項について、審議会当日に発言いただきたいので宜しくお願ひします。(お一人様5分以内でお願いします。)

当日の議論に資するため、審議会当日に席上で共有したいと存じますので、恐れ入りますが、3月19日(火)まで提出いただけるようお願いいたします。

委員氏名： _____

1. 本県産業の未来の姿(2035年の未来像)について、以下に記載してください。

※現状にとらわれず、中長期で理想とする未来像に向かうため、未来の姿を2035年に設定

2. 1の実現に向け、次期ビジョンの計画期間(5年・2025~2029年)における、本県産業の必要な取組みについて、以下に記載してください。